

# 平成26年度 事業報告



## 岡山理科大学附属中学校

中高一貫校の優れた教育内容を提供し、学んでいる子どもたちの学力をさらに伸ばし、難関大学入試を突破するだけでなく、社会に出て各分野で活躍できる人材を育成します。



従来の暗記や単純な演習中心から『自ら主体的に学ぶ力を身に付けると共に、学ぶ喜びを共感できる』生徒の育成を目標にし、受験勉強にとらわれることなく、本当の学び方、学問の面白さ、学ぶ楽しさをも伝えていきました。

また、本校の特色のひとつである中・大連携により、自然教室・天体観測・環境問題などの学習活動を行うことによって知識や技能の深化を図り、国際交流やボランティア活動を通じて幅広い人間性を構築し、論語をとりいれた道徳教育により正しい判断と実践ができる全人的な人材を育てていきました。

加えて、附属高校校訓を下に「立志三風」を定め、その実現のために「生活三則」の指導を教職員一丸となって取り組んでいきました。

また、本校の特色のひとつである中・大連携により、自然教室・天体観測・環境問題などの学習活動を行うことによって知識や技能の深化を図り、国際交流やボランティア活動を通じて幅広い人間性を構築し、論語をとりいれた道徳教育により正しい判断と実践ができる全人的な人材を育てていきました。

### 立志三風

- 一、慎独・去雑心の志風と守る（自主）
- 一、振気・勉学の良風と尚ぶ（努力）
- 一、忠恕・爽凜の美風と養う（友愛）

### 生活三則

- 一、場と清めましよう
- 一、時と守りましよう
- 一、礼と正しましよう

岡山理科大学附属中学校

校長 位田 隆久

## 教学の充実

### ■クラス別教育目標

- ・スーパー選抜クラスの全国中学校偏差値60を維持し、岡山県での合格難関校を維持しました。また、自ら進んで学習する「自立学習」を身につけさせることで、難関大学に合格できる学力を養いました。
- ・選抜クラスは、基礎学力の充実をはかり、学ぶことの大切さを身につけさせ、大学進学に対応させました。

### ■授業計画書の作成

全科目の授業計画書を作成し、授業内容及び授業進度を生徒・保護者が理解し、円滑な学習活動を助けました。

### ■チューターによる自習教室

通年で週3日開設し、生徒の自学自習能力を向上させました。

### ■イマージョン教育

イマージョン教育（英会話、芸術科目）を実施し国際性豊かな人材の育成をはかりました。

英会話は1～3年生の全クラス、イマージョン美術はスーパー選抜クラス1・2年を対象に実施しました。

### ■ 実用英語技能検定・漢字能力検定を全生徒に実施

- ・1年在籍生徒の9割以上が5級以上の取得を目標としました。
- ・2年在籍生徒の6割以上が4級以上の取得を目標としました。
- ・3年在籍生徒の5割以上が3級以上の取得を目標としました。

教員が生徒に対し、積極的に受検指導を行い、ほぼ目標に近い結果が残せました。

### ■ TOEIC Bridge を1・2年生の生徒に実施

- ・2年終了時には180満点中120点をスコアとすることを目標としました。
- ・150点を超える生徒にはTOEIC受験を積極的に促しました。

### ■ 教員研修会

数学科で『授業改善』を目的に研究授業を1～2回実施しました。

## 生徒指導

### ■ 社会性規範育成への取組

社会的なモラルは学校生活においても不可欠です。学校独自としての規則だけではなく、その場の状況に適した言動が取れるよう、常日頃から生徒への指導を行い、また話し合いを大切にしました。

### ■ 服装指導の実施

服装モットーは「凜とした爽やかさ」です。規定のものに限らず全てにおいてTPOに合わせ、清々しさを持った着こなしを目指し、学校生活の様々な場面で呼びかけていきました。

### ■ 将来につながるリーダーの育成

体育祭、爽凜祭(学習発表会)、球技大会、オープンスクールなど様々な学校行事のほとんどは実行委員が主体性を持って運営していき、また、その中で企画力、実践力を学び、総合的に人間力を高めるようにしていきました。

### ■ 挨拶の励行

気持ちを込めて挨拶ができるように、また、正しい言葉遣いができるようにしていきました。

### ■ 情報教育

インターネット等によるトラブルにまきこまれないための情報教育を行いました。

### ■ 家庭、地域社会との協力・連携強化

スクールバスの乗車指導・通学指導などの登下校指導の実施、毎日の生活ノートの確認など生徒の学校生活や地域および家庭での生活などをサポートしていきました。

### ■ 教育相談室・保健室との連携

思春期である中学生期を心身ともに健康で過ごすために綿密に連絡を取り、連携を強化していきました。

## 教務関係

### ■ 授業・学習関係

- ・1単位当たり年間35時間の授業時間を確保します。行事や休日で抜ける授業は代講日の設定、放課後補習、夏期補充、春期補充で補いました。
- ・自習教室や指名者補習を利用し、クラスの種別に関係なく、授業で理解できなかった部分の補いができる機会を創設します。部活動より補習等の学習活動を優先させました。
- ・休業期間中の補習は進路指導課と連携し、夏期に8日、冬期に3日、春期に4日実施しました。実施科目は国語、社会、数学、理科、英語としました。部活動より指名補習を優先させました。
- ・1年生では学習成績や本人の希望により、選抜クラスからスーパー選抜クラスへの移動を認めました。

## ■カリキュラム・シラバス関係

授業(数)中心のカリキュラムから学習内容の理解度に応じた指導が可能なカリキュラムを作成しました。授業で復習が十分できない場合は学習内容を確認する機会をつくりました。従来通り、週36時間授業を実施し、補習で低学力の生徒を指導しました。

## ■考査関係

成績不振と判定する基準点を設け、基準点に達していない生徒への指導を進路・学習担当とともに行いました。

指導期間中の部活動は原則禁止としました。

## ■情報発信

学年通信を発行し、生徒の現況を家庭に伝え教育活動への協力を求めました。文書とウェブの両方を活用しました。

## 生徒募集

## ■塾との関係の強化

- ・出来るだけ多くの塾との関係を深めるために年間3回程度の一斉訪問の実施をするだけでなく、教職員が担当する塾を決めて細やかに情報交換を行いました。
- ・塾との関係を深めるために情報の共有を行いました。
- ・入試関係の情報を提供するために入試結果説明会を実施しました。

## ■小学校への情報提供

- ・中学受験が必要な私立小学校の連携強化を行いました。
- ・重点小学校を決め、出来るだけ多くの情報を書面で連絡しました。

## ■全体への広報

- ・ホームページによる情報提供の迅速化
- ・オープンスクール・理科実験教室

7月20日(日)・26日(土)・8月23日(土)

- ・プライベートオープンスクール(個別学校説明会)  
8月25日(月)～8月29日(金)
- ・オープンスクール・学校説明会  
9月21日(日)
- ・適性検査対策講座を実施し、本校への理解を深めました。10月18日(土)
- ・入試説明会  
10月18日(土)、11月5日(水)
- ・本校生徒の様子を的確に伝える広報リーフレット(ビバ理中)を年間4回発行しました。

## 主な行事

4月9日	入学式
4月10日	健康診断
4月19日	授業参観
5月31日	PTA総会
6月10日	音楽鑑賞教室
9月27日	体育祭(岡山ドーム)
11月1日	爽凜祭(学習発表会)
11月25日～27日	修学旅行(東京周辺)
1月23日	百人一首大会
2月2日～4日	校外活動
3月19日	義務教育修了式
3月20日	修了式
3月20日～28日	海外研修



## 生徒・教職員数

### ■在籍生徒数

(平成26年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	57	240	166

(単位：人)

### ■教職員数

(平成26年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員 計	事務職員
1	1	18	20	2

(単位：人)

## 財務関係

### ■消費収支

(単位：千円)

年度 科目	26年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	89,135	95,149
補助金収入	63,009	61,601
その他収入	23,495	4,054
帰属収入合計	175,640	160,804
基本金組入額合計	△ 32	△ 224
消費収入の部合計	175,608	160,580
人件費	193,367	156,714
教育研究経費	34,224	34,857
管理経費	12,964	14,734
その他支出	0	0
消費支出の部合計	240,556	206,305

### ■施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
教室生徒用 机・イス 25台	419